

P・I・A シート

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
中学校 社会 編 ① 概要

校種・学年	中学校・3学年	教科等	社会
単元名	個人の尊重と日本国憲法		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解できるようにするとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解できるようにする。 <知識及び技能> 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解できるようにするとともに、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解できるようにする。 <知識及び技能> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 <思考力、判断力、表現力等> 人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等> 		
本時のねらい	基本的人権の意義について、持続可能な社会の実現と関連付けながら考察し、表現する。		
本時の評価規準	基本的人権の意義について、持続可能な社会の実現と関連付けながら考察し、表現している。 【思考・判断・表現】		

事例の概要(見どころ)

本時は、基本的人権と法の意義、民主的な社会生活と法にもとづく政治、日本国憲法の基本的原則等について学び、学習した内容をSDGsの実現に向けてどのようにいかしていくべきかという学習活動を軸にした全16時間単元のうちの12時間目です。

「授業者に教わる授業」から「生徒が主体的に学ぶ授業」への転換を図るために、授業者がファシリテーターとなって生徒が学習課題に対して調べたり、議論をしたり、まとめたりする等のアウトプットを中心としています。更に、主体的に学ぶ授業の実現に向け単元の学習問題を学級ごとに生徒が設定したり、見方・考え方を働かせるための思考ツールやICT機器の活用をしたり、見方・考え方を内包した課題を立てたりしながら、学習活動を展開しています。




P・I・A シート

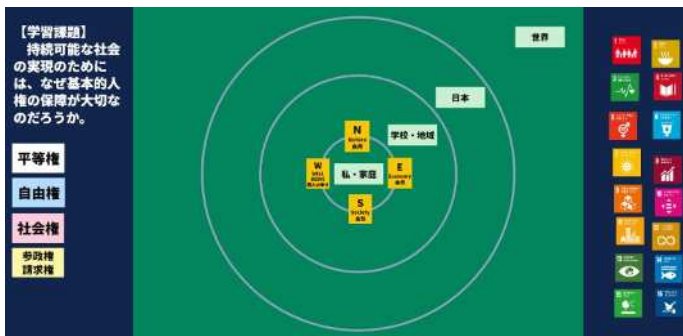
～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
 中学校 社会編 ② 指導展開

- 目標 基本的人権の意義について、持続可能な社会の実現と関連付けながら考察し、表現する。
 <思考力、判断力、表現力等>
- 準備 タブレット端末（端末内にワークシート、思考ツール、振り返りカード）・大型モニタ
- 展開 (12 / 16)

学習活動等	・指導上の留意点	観点 具体的評価規 準 (評価方法)
<p>1 前時までの確認をする。</p> <div data-bbox="215 757 518 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 既習事項（前回までの学習内容）を確認し、本時の学習内容が現実の社会問題の解決に活用できることを共有することで、学習する必要性をもたせています。 </div>	<p>・基本的人権の構造図を示し、その内容を班ごとに確認させる。 ・本時に使用する思考ツールの使い方について説明する。</p> <div data-bbox="587 837 983 1059" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div>	<div data-bbox="1010 770 1401 936" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【授業改善の視点】 社会的な見方・考え方が働くよう、単元の学習問題と、毎時間の問いのつながりを意識し、単元を通した問いの構成を工夫することが大切です。</p> </div> <div data-bbox="1010 972 1401 1093" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【授業改善の視点】 子供の疑問や気付きから学習課題を設定することで、より主体的な学びにつながります。</p> </div>
<div data-bbox="268 1115 1358 1211" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【本時の学習課題】 持続可能な社会の実現のためには、なぜ基本的人権の保障が大切なのだろうか。</p> </div> <div data-bbox="284 1227 671 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>設定した本時の学習課題によって現代社会の見方・考え方を働かせて考察することを意図しています。</p> </div> <div data-bbox="775 1234 1313 1379" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【授業改善の視点】 既習事項や生活経験を基に課題に対する予想をさせたり、子供自ら解決の方法を考えさせる場面を設けたりすることで、見通しをもたせることが大切です。</p> </div>		
<p>3 SDGs における課題を見出し、思考ツールの中に位置付ける。</p> <div data-bbox="193 1686 552 1798" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> SDGs と関連付けることで、基本的人権の意義を多面的に考えることができるようにしています。 </div> <p>4 SDGs における課題と基本的人権を関連付ける。</p> <div data-bbox="188 1906 555 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 思考ツールで学習内容を再構成する際に、知識の習得が不十分な内容を意図的に取り扱うよう促し、確実な習得を図っています。 </div>	<p>・授業で学習したこと、ニュース等で知っていること、自分が日ごろ感じていること等から、SDGs の課題が身近にあることに気付かせる。 ・個人が取り組む時間とグループで取り組む時間を明確に分け、各自の考えを反映させる。 ・活動の例「LGBTQの生徒に配慮した多目的トイレが学校に少ない」というカードを作成し、範囲は「学校・地域」に、コンパスは「W (Well-being) 個人の幸せ」と「S (Society) 社会」の間に位置付け、「ゴール5 ジェンダー平等」とカードを連結しておくこと等。</p> <p>・基本的人権のうちのどれが侵害されているかを色分けして位置づけさせる。 ・活動の例「性の多様性に配慮した多目的トイレが学校に少ない」のカードの色を白にして、平等権の侵害であることを示す等。</p>	<div data-bbox="1147 1420 1410 1615" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1137 1615 1433 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本時の課題を解決するとともに、単元の学習問題を解決していくためにタブレット端末の思考ツールを活用し、これまで学習した内容を再構成しながら個人とグループで取り組んでいます。また、思考ツールを使用することで、思考の可視化や即座に共有、加除訂正が可能となり学習活動の効率を高めています。 </div>

<p>5 侵害されている基本的人権を保障する手立てを提案することで、人権の保障とSDGsの達成を関連付ける。</p>	<p>・活動の例「市の子ども議会で提案し、増設してもらう」等。</p> <p>【授業改善の視点】 提案をより分かりやすく効果的に示すためには、構想したことをその妥当性や効果、実現可能性などを踏まえて表現することが大切です。</p>	
<p>6 グループで完成させた思考ツールを他のグループに交代しながら全員が発表する。</p> <p>全員が発表することで、アウトプット中心の学習のよさを実感するとともに、課題を自分ごととして捉える意識を高めています。</p>	<p>・思考ツールの内容を説明しながら、基本的人権の意義について自分の言葉で発表するよう促す。</p> 	<p>【授業改善の視点】 対話的な学びは、グループ活動をすれば対話的な学びになるわけではなく、話し合いが子供にとって「必然性」があり、友達と話し合うことで、自分の考えを広げ深めることにつながる大切が大切です。</p>
<p>毎時間のまとめや振り返りは、単元を貫く学習問題の解決に結びつけるように意識させることで、生徒に単元を通じた学習の見通しをもたせるようにしています。</p>		<p>【思】基本的人権の意義について、持続可能な社会の実現と関連付けながら考察し、表現している。 (観察・ワークシート)</p>
<p>7 学習課題のまとめと振り返りを振り返りカードに記入する。</p>	<p>・「本時でわかったこと」「次時でわかりたいこと」は、単元を貫く学習問題の解決に位置づけて記入させる。</p>	
<p>【本時のまとめ】 基本的人権を保障することは、持続可能な社会を実現するための大前提である。</p>		
<p>【期待したい振り返りの記述】 日本国憲法の適用範囲は日本国内であるため、世界規模で持続可能な社会を実現するためには、日本国憲法のみでは不十分である気がしています。例えば、基本的人権を保障する世界共通の基準のようなものはあるのでしょうか。</p>		
<p>わからなかったことや考えたことを振り返ることで、次時に確かめたい新たな課題を見つけることができるようにしています。</p>		<p>【授業改善の視点】 振り返りでは、「自身の学びや変容を自覚すること」や「向上したことや学び方のよさを確認・実感すること」、「課題についての予想や仮説と自分のまとめを比較し、自分の考えの深まりを実感すること」等の視点も期待したい。</p>

○使用する思考ツール（同心円チャートとSDGsコンパス※を組み合わせている）



※SDGsコンパスとは企業等がSDGsに取り組む際に、自然（Nature）、経済（Economy）、個人の幸せ（Well-being）、社会（Society）の4つの視点から課題を見出していくためのツール。